

(倫理様式 2-2-1)

早期経口摂取に向けたアプローチの有用性 ～自院急性期からの転床患者と他院からの直接入院患者との比較検討～

1. 研究の対象

2020 年 4 月から 2026 年 3 月までに当院回復期リハ病棟に入院していた初発脳卒中患者。

2. 研究目的・方法

早期経口摂取移行への取り組みは、患者の ADL 能力向上や在棟日数短縮において重要な役割を果たすことが報告されています。当院は、急性期一般病棟と回復期リハビリテーション(リハ)病棟を併せ持つケアミックス病院であり、各病棟に摂食嚥下障害看護認定看護師を配置し、早期経口摂取移行に向けて積極的な介入を展開しています。本研究の目的は、当院急性期一般病棟および回復期リハ病棟における取り組みの妥当性を検討するため、当院急性期一般病棟から転床した患者と、他院急性期一般病棟から直接入院した患者を対象に、経口摂取移行割合や移行日数を比較することで、急性期からの継続的な摂食嚥下支援体制の特徴や有用性を明らかにし、今後の早期経口摂取支援体制構築の一助となることを目指していきます。

本研究は、倫理審査委員会の承認後から 2028 年 3 月 31 日までの間に実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、回復期リハ病棟在棟日数、発症から回復期リハ病棟入院までの日数、入院時 FIM 合計点数、最終的な経口移行割合、発症から経口摂取移行までの日数、回復期リハ病棟入院から経口摂取移行までの日数、回復期リハ病棟入院後 3 日以内に経口摂取移行を達成した割合 など

※個人が特定される情報は用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 看護部

研究責任者 野口圭一

住 所：群馬県伊勢崎市太田町 366

T E L：0270-24-3355 F A X：0270-24-3359